



テイダ通信

～第27号～
2017年3月号

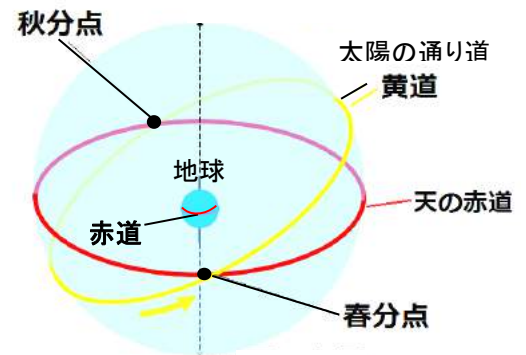
〒901-0244 豊見城市宜保324-10 TEL:098-850-7724

◆ 彼岸



3月と言えば 卒業、合格発表などを想像しますが、皆様の周りにもそんな話題 ありますか？ 私には、高校を卒業する息子がいて、希望の大学に進学できず今後の進路に悩んでいます。そんな息子にどんな言葉をかけて良いか 少し頭を悩ませていますが、彼が自分自身の進路を考え、決める環境作りと、それを受け入れる私の心の準備をしておこう…と思っています。

さて、去った土曜日 同級生の模合い(モアイ)で、一人が「なぜ 春分の日は**20日**だったり**21日**だったりするの？」という疑問を皆に投げかけました。誰一人その問いに答える事はできなかったのですが皆で推測しようという事で話が盛り上がり、審議(笑)を重ねた結果、「地球が太陽の周りを365日かけて1周するのが1年だけど、正確には365日と約6時間かかる。その誤差を埋める為の4年に1度の**うるう年**に関係している…で、本来**21日**が、**うるう年**は**20日**になる…」という結論に達した。それが正解なのかは不明なので、ちゃんとした答えは来月に！…という事で宿題となった。早速調べてみると、日本の祝日を定めている「**国民の祝日に関する法律**」によると、春分の日・秋分の日は、**天文学上**それぞれ「**春分日**」「**秋分日**」と呼ばれている日を採用するとされていて



右図を引用すると、中心にある地球の赤道を宇宙に伸ばした線を**天の赤道**、太陽が移動する通り道を**黄道(コウドウ)**といい**天の赤道**と**黄道**が交わる点の一方を「**春分点**」もう一方が「**秋分点**」と呼ばれています。そして太陽がその二つの点を通る瞬間を「春分」「秋分」と定義されていて、その点を通る日を「**春分日(春分の日)**」「**秋分日(秋分の日)**」と呼ぶ…とされています。では、春分の日と秋分の日は、いつ誰がきめているのか？ 正式な日程は、**国立天文台**が作成する「**歴象年表**」に基づいて閣議決定され、前年の2月に春分の日・秋分の日の日付が書かれた「**歴要項(れきようこう)**」が官報に掲載される事によって、正式決定となります。う～んなんとなくわかったような…

因みに、春分の日と秋分の日は、**彼岸**がありますが、なぜ彼岸というのか知っていますか？ 恥ずかしながら私は知りませんでしたが、仏教では、先祖がいるところを「**極楽(彼岸)**」、私達が生きている世界の事を「**此岸(しがん)**」といい、彼岸は西、此岸は東に位置すると考えられています。春分の日と秋分の日、太陽が**真東**から昇り**真西**に沈む事から**彼岸(先祖)**と**此岸(私達)**が最も近い(通じやすい)と考えられ、春分の日・秋分の日を**彼岸**と定めて、その期間に先祖を供養するようになった…とも言われています。

※前に戻って、なぜ春分の日は…？の答えは、上記のとおり、毎年月日が決まっている訳ではない！

という事になります。余談 沖縄(我家)では、春分の日・秋分の日いずれもご先祖への供養が主ですが、「国民の休日に関する法律」では、春分の日は、「**自然をたたえ、生物をいつくしむ**」秋分の日「**祖先をうやまい、亡くなった人々をしなのぶ**」とされています。春分の日は**自然をたたえ**…って知ってた？と母親に聞いてみようと思います。「**あんたはまた難しい話するね～**」って雷が落ちそうですが☹